

中学校第2学年保健体育科 学習指導案

期 日 平成24年10月31日(水) 第5校時

場 所 大津町立大津中学校 運動場

指導者 教諭 久米野 千晶

1 単元名

サッカー(球技:ゴール型)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、二つのチームが入り混じって、手や腕以外の身体を使って一つのボールを取り合い、組織的に攻防を行って、お互いのゴールにシュートをして得点を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。個人技能や集団技能の程度に応じて、チームの人数、ゲームの時間、コート of 広さ、ルール等を工夫することで、個人やチームの力に応じた作戦を立てゲームを楽しむこともできる。

(2) 系統観

学年	小学校5・6年生	中学校1・2年生	中学校3年生・高等学校入学年次
領域	ボール運動	球 技	球 技
内容及び構成	ア ゴール型 [例示] ・バスケットボール ・サッカー ・ハンドボール ・タグラグビー ・フラッグフットボール	ア ゴール型 [運動種目] ・バスケットボール ・ハンドボール ・サッカー	ア ゴール型 [運動種目] ・バスケットボール ・ハンドボール ・サッカー

(3) 生徒観(本単元に係る生徒の実態 男子26人、女子18人、計44人)

○情意面に関する実態

【体育は好きですか?】

とても好き27人 まあまあ好き12人 あまり好きではない5人 嫌い0人

【体育は得意ですか?】

とても得意4人 まあまあ得意22人 あまり得意ではない15人 苦手3人

【サッカーは好きですか?】

とても好き11人 まあまあ好き24人 あまり好きではない8人 嫌い1人

【サッカーは得意ですか?】

とても得意5人 まあまあ得意8人 あまり得意ではない27人 苦手4人

○学び方に関する実態

【体育の授業で、どうしたら運動がうまくできるか、運動が上手になるか、考えて学習していますか?】

とても考える4人 まあまあ考える36人 あまり考えない4人 考えない0人

【体育の授業で、クラスメートの動きや他のチームの動き方を見て、学習していますか?】

とても見ている14人 まあまあ見ている24人 あまり見ていない5人 見ていない1人

【体育の授業で、クラスメートにアドバイスや気付いたことを伝えて、学習していますか?】

とても伝える1人 まあまあ伝える21人 あまり伝えない21人 伝えない1人

【体育の授業で、クラスメートや先生からのアドバイスや気付きを、自分の学習に役立てていますか?】

とても役立てている12人 まあまあ役立てている27人 あまり役立てていない5人 役立てていない0人

【体育の授業で、グループやペアで話し合うときに、自分の意見・考えを伝えて、学習していますか?】

とても伝える7人 まあまあ伝える24人 あまり伝えない12人 伝えない1人

○運動経験の実態

第1学年では、ゴール型の種目としてサッカーとバスケットボールから選択して学習している。昨年度に引き続きサッカーを学習する生徒は18人である。昨年度のサッカーの学習では主にボールコントロールと、3対2やハーフコートのミニゲームで数的優位について学習した。

本校はほとんどの生徒が部活動に加入している。サッカーを選択した生徒の多くは日常から運動を行っている生徒も多く、その内サッカー部員は9人である。

一方、運動やサッカーに苦手意識を感じている生徒もいる。これら苦手意識を感じている生徒が主体的に取り組んでいけるような学習を仕組まなければならない。

○体力テストからの実態（県は平成23年度平均値）

種 目		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
男子平均	学年	28.65	26.08	41.80	55.52	399.34	8.09	190.78	20.35
	県	29.31	27.10	41.86	51.87	380.23	8.07	193.99	20.91
女子平均	学年	22.78	23.46	43.85	51.49	278.76	8.67	168.62	14.05
	県	23.90	22.83	42.54	46.09	284.36	8.89	167.30	13.34

男女共通で、反復横跳びで県平均を上回っている。

(4) 指導観

○第1時オリエンテーションで、学習のねらいや進め方を示し、生徒に見通しを持たせるとともに、学習のきまり、安全確認について指導する。

○体力の向上を目的として、毎時間の導入で補強運動を設定する。

○学習1では、基礎的・基本的な技能（ボール操作）を習得するためのゲーム（基礎技能向上ゲーム・ドリルゲーム）を設定し、正確にボールを蹴ること、扱いやすい位置にボールをコントロールすること、ボールを持ったときにゴールに体を向けること等を習得できるようにする。

○学習2では、コートや人数に条件を付けたゲーム（課題設定ゲーム・タスクゲーム）によって、チームで攻め方や守り方を決めて、身に付けたボール操作の技能を活用し、ボールを持たないときの動きを理解できるようにする。

○学び方（安全面、きまり等）については、毎時間のはじめに知らせ徹底を図る。

○毎時間のまとめでは、よい動きをしていた生徒を紹介し、基礎的・基本的な動きのポイントを確認する。

また、攻め方や守り方を工夫し作戦を考えていたチームを紹介するとともに、思考・判断の評価を行う。

○学習班（チーム）の編成は、男女混合の6チーム（7～8人）をつくる。

○生徒同士の教え合い学習が充実するように、動きのポイントや作戦の工夫のヒントとなる言葉を整理し、ボードにまとめていく。

○本学習では、指導と評価の一体化を図るために次の評価活動を行う。

診断的評価：事前のアンケートにより児童一人一人の実態を把握し、事後のアンケートで変容を評価する。

学習シートを活用し、毎時間の自己評価・相互評価が的確に行えるように、評価の視点を明確に示す。

ゲームを実況する学習（アナウンス学習）を通して、戦術に関する思考・判断・表現についてパフォーマンス評価を行う。

Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の視点から

本単元で高めたい思考力、判断力、表現力等は、チームで作戦を考え、ゲームの攻め方を工夫することである。個人のボール操作を主とした「基礎技能向上ゲーム」で、基礎的・基本的な技能を身に付け、コートや人数に条件を付けた「課題設定ゲーム」で、身に付けた技能を活用しながら、ボールを持たないときの動きを理解し、チームで攻め方を工夫できるようにする。中学生の発達段階を踏まえて、基礎的・基本的な技能の習得と合わせて、ゲームの様相を分析すること、ゲーム中につけ合う言葉（ゲーム言葉）を共通理解させること、ボールを持たないときの動きを視覚的に理解させることなどを通して、チームで作戦を立てることに焦点化を図ることができるようにする。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	(1) ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができるようにする。(技能) (2) サッカーに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(態度) (3) サッカーの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できるようにする。(知識) (4) 課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(思考・判断)
運動への 関心・意欲・態度	サッカーの楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
運動についての 思考・判断	サッカーを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。
運動の技能	サッカーの特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。
運動についての 知識・理解	サッカーの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。

4 指導・評価の計画（12 時間扱い 本時 6 時間目）

次 時	1	2	3	4
	1	2～6（本時 6 時間目）	7～10	11～12
学 習 活 動	○学習のねらいや進め方、シートや用具の使い方を知る。 ○準備・片付けの役割分担やグループを決める。 ○簡易ゲームをして、サッカーの特性やルールを知る。	○集合、あいさつ、場の準備をする。 ○準備運動・補強運動をする。 ○学習の進め方やめあてを確認する。 ○学習 1（ドリルゲーム）の活動をする。【習得】 ・二人組でのコントロール&パス ・三人組でのコントロール&パス 等	○学習 1（ドリルゲーム）の活動をする。【習得】 ・二人組での動きながらのコントロール&パス ・三人組での動きながらのコントロール&パス ・3 対 1 でのボール回し ・4 対 2 でのボール回し 等	○学習 1 の活動をする【習得・活用】 ・相手の攻撃に応じた守備の動き ・相手の守備に応じた攻撃の動き 等
		○学習 2（タスクゲーム）の活動をする。【活用】 ・4 対 4（サイドマン有り）のゲーム ・5 対 5（サイドマン有り）のゲーム 等	○学習 2（タスクゲーム）の活動をする。【活用】 ・5 対 5（2 ゴール）のゲーム ・5 対 5（守備者の数に制限）のゲーム 等	○学習 2（まとめのゲーム）の活動をする。【活用】 ・学習したことを生かして総当たりのリーグ戦による大会を行う。 ・大会で、審判・ラインズマン・運営係等を役割分担する。
	○学習の振り返りをする。 ○整理運動、後片付け	○学習の振り返りをする。 ○整理運動、後片付け	○学習の振り返りをする。 ○整理運動、後片付け	○学習のまとめをする。 ○整理運動、後片付け
※ 思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等 の 育 成	・学習計画を示し、見通しを持ち、主体的な学習活動ができるようにする。 ※学習シートへは、自分や友達の動きを言葉で記入させる。	・準備を安全に、素早く、協力して行うよう助言する。 ・本時の学習の見通しを持たせ、協力して進めていくためのきまりを確認する。 ・学習 1 で、スキルの伸びを数値化することで興味関心を高める。 ・学習 2 で、第三者のアドバイスにより、ボールを持たないときの動きを意識してゲームをさせる。 ※運動技能のポイントについて、言葉で指摘し合い練習活動に生かしていく。 ・学習 2 のゲームで、よいチームの動きから身に付けさせたい動きを示す。 ※ゲームの中で作戦タイムを使い、自分や友達の動きを伝え合わせる。	・学習 1 で、声をかけ合うことで、集団的な動きができるようにする。 ・学習 2 のゲームで、作戦を工夫しながら、相手との攻防を続けることを意識させる。 ※うまくボールがつながった時の情報を言葉で互いに交換させ、意識させる。 ※ゲームの中で作戦タイムを使い、自分や友達の動きを伝え合わせ、作戦を工夫させる。	・学習 1 で視覚的教材等を利用し、視覚的に生徒の動きを伝える。 ・学習 2 のまとめのゲームで、審判・ラインズマン・運営係等を役割分担させ、主体的な大会運営をさせる。 ※ゲームの中で作戦タイムを使い、自分や友達の動きを伝え合わせ、作戦を工夫させる。
		・教え合い活動のよさを互いに確認させる。 ※学習シートに自分や友達の動き、チームとしての動きを記入させ、伝え合い交流させる。		
（ 評 価 方 法 ）	関心・意欲・態度①（観察） 健康・安全に留意し、分担した役割を果たそうとしている。	関心・意欲・態度②（観察） 練習やゲームで、作戦などについての話合いに参加しようとしている。	関心・意欲・態度③（観察・シート・） 練習やゲームで、仲間の学習を援助しようとしている。	関心・意欲・態度④（観察・シート） ルールを守り、フェアなプレイを守ろうとしている。
		思考・判断①（シート・アナウンス） 練習やゲームから、自分の課題を見付け、ボールを持たないときの動きを工夫している。	思考・判断②（観察・シート・アナウンス） 練習やゲームから、チームの課題を見付け、ボールを持たないときの動きを工夫している。	思考・判断③（観察・シート・アナウンス） チームや自分の課題をとらえ、ゲームでの新たな作戦を見付けている。
		技能①②（観察・シート） ボールとゴールが同時に見える場所に立ち、パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。	技能③④（観察・シート） マークされていない味方、得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。	技能⑤（観察・シート） パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。
	知識・理解①（シート） サッカーの特性について、書き出している。	知識・理解②（観察・シート） サッカーに必要な技能の名称や行い方について、言ったり、書き出したりしている。	知識・理解②（観察・シート） サッカーに必要な技能の名称や行い方について、言ったり、書き出したりしている。	知識・理解③（観察・シート） サッカーの試合の行い方について、言ったり、書き出したりしている。

5 本時の学習

(1) 目標

- ボールとゴールが同時に見える場所に立ち、パスでボールをつなぐことができるようにする。(技能)
- 作戦についての話し合いに参加することができるようにする。(態度)
- 技能の名称や行い方について、学習した具体例を挙げることができるようにする。(知識)
- ボールを持たないときの動きの行い方のポイントを見つけることができるようにする。(思考・判断)

※本時では、運動についての思考・判断を主として評価する。

(2) 評価基準

「思考・判断②」(観察・シート・アナウンス)

(B基準) ボールを持たないときの動きとして、攻める方向に半身で構えることを見付けている。

(A基準) ボールを持たないときの動きとして、攻める方向に半身で構えて動くことを見付けている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※思考力、判断力、表現力等の育成	備考
導入 10分	1 集合、あいさつ。 2 場の準備をする。 3 準備運動・補強運動をする。 4 学習の進め方やめあてを確認する。 【一斉】 攻めと守りの切り替えを考えて素早く動こう。	○自分の分担された役割を果たそう。 ○ゲームの場所や順番は学習ボードで確認しよう。 ○味方のパスをコントロールしやすくする動き方を工夫しよう。	○欠席者・見学者の確認と指示。 ○場や用具の安全を確認する。 ○しっかり意識して行われているか観察し、助言する。 ○仲間の学習を援助するために、声かけ・アドバイスを意識させる。 ○これまでに学習した動き方を整理し掲示する。 ○ゲーム中にかけ合う言葉(ゲーム言葉)を確認する。	学習ボード 学習環境
展開 35分	5 学習1 基礎技能習得ゲームをしてボールをつなぐプレーを身に付ける。 【グループ】 【チーム対抗パス回しゲーム】 練習：5分 ゲーム①：1分 動きの確認：2分 ゲーム②：1分 6 学習2 課題設定ゲームをしてチームで作戦を工夫する。 【グループ】 【サイドマン有り5対5ゲーム】 作戦タイム ゲーム①：6分 A対B、D対E 作戦タイム ゲーム②：6分 A対C、D対F 作戦タイム ゲーム③：6分 B対C、E対F	○ルールを守って、パス回しゲームをしよう。 ○視野を確保して、パスをつなぎ続けよう。 ○バックステップを踏み遠い足でボールを受けよう。 ○味方への声をかけ合おう。 ○これまでどんな作戦があったかな。 ○新しい作戦を工夫してやってみよう。 【学習課題を示す】 ○コート外からも声をかけて、仲間の学習を援助しよう。 ○得点のルールを守りましょう。 ○作戦ができるために積極的に友達と声をかけ合おう。	○ルールの確認とゲームのポイントの説明する。 ○ゲーム①の後、気付きを発表させ動きのポイントを確認してからゲーム②を行う。 ○よい生徒の動きを積極的に賞賛する。 ○生徒が考えた作戦や動き方をボードに整理して示す。 ○サイドマンのルール及びプレイヤーを確認する。 ※作戦タイムを設定し、チームで作戦や動き方を工夫できるようにする。 評価:思考・判断(観察・シート・アナウンス) B:ボールを持たないときの動きとして、攻める方向に半身で構えることを見付けている。 〈B基準に達しない生徒への手立て〉 バックステップを踏み、ゴールとボールの両方を見ることを意識させる。 ○コート外からゲームをアナウンスさせ、ICレコーダーに記録させる。	マーカー 学習ボード 得点板 備置ボード ICレコーダー
整理 5分	7 整理運動をする。 8 学習の振り返りをする。 【グループ→一斉】 9 後片付けをする。	○ゲームについてチームで振り返ろう。 ○全員で協力して、素早く行おう。	○体調不良やケガがないか確認する。 ○作戦の工夫をしたチームを紹介し、動き方のポイントを確認する。 ○最後まで協力して安全に行われているか観察し、助言する。	学習シート